

登録コード	A3325200	開講年度	2026					
授業科目	植物病学				担当教員	入枝 泰樹		
英文授業名	Plant Disease Science							
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	2年生
講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】		
	2022Aカリ, 2021Aカリ, 2020Aカリ, 2019Aカリ							
	【2022年度以前カリキュラム対象】農学に関する広い知識・技術を修得している				⇔	植物の病気や病原体の種類・特徴、診断、同定、防除等の基礎知識を修得している。		
	2026A3編 (24A), 2025A3編 (23A), 2024Aカリ, 2023Aカリ							
	【2024年度以前カリキュラム対象】農学に関する専門的知識・技術を修得している。				⇔	植物の病気や病原体の種類・特徴、診断、同定、防除等の基礎知識を修得している。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	植物の病害に関する研究分野の歴史、植物の病気や病原体の種類・特徴、診断、同定、防除等の基礎的内容と、当該研究分野が社会に果たす役割について解説します。第15回の最後の15分に授業アンケートを実施します。							
(5)授業計画	第1回：植物病と人類の戦い 第2回：植物の病気とは 第3回：植物病原体の多様性と特徴 第4回：植物病原体の特徴（病原体の種類） 第5回：植物病原体の特徴（病原体の種類と巧みな能力）と植物の自衛力 第6回：様々な植物の病気① 第7回：様々な植物の病気② 第8回：様々な植物の病気③ 第9回：植物病の伝染 第10回：植物病の診断と病原体の同定 第11回：植物病害の防除① 第12回：植物病害の防除② 第13回：植物病害の防除③ 第14回：肥培管理と耐病性 第15回：植物病理学が社会に果たす役割とバイオサイエンス 授業アンケート 第16回：期末試験							
(6)自主学習の指針	講義中にしっかりとメモを取り、疑問に思ったことは参考書や信頼性のある情報源を活用して自主的に調べるようにしてください。							
(7)成績評価の基準	授業で示した植物の病気に関連する各事象の解説内容や同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、解説内容からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」とします。							
(8)事前事後学習の内容	レポート作成や試験勉強の際は文献や信頼できる情報源をよく調べるよう心がけて下さい。							
(9)テストやレポートの予定	各回ごとの授業内容に関わる事象について小レポート課題を設定場合があります。また、第16週に試験を実施します。							
(10)成績評価の方法	受講態度（小レポート含む）40点、期末試験成績を60点として評価します。最終成績の評価基準は、秀（90-100）、優（80-89）、良（70-79）、可（60-69）、不可（0-59）とします。なお、やむを得ない事情を除き、全授業回への出席が必要になります。							
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問は講義中、またはメールで入枝が受け付けます。 irieda@shinshu-u.ac.jp （@が全角になっているため、半角に変更してください）							
(12)履修上の注意	特になし。							
【教科書】	特になし。							
【参考書】	植物病理学の基礎（夏秋啓子 他 編著、農文協）							